

No.01-a 患者満足度（外来患者） 満足

No.01-b 患者満足度（外来患者） 満足またはやや満足

【計算方法】

分子	a	分母のうち「満足」と回答した外来患者数
	b	分母のうち「満足」または「やや満足」と回答した外来患者数
分母	外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数 ・「不満/やや不満/どちらともいえない/やや満足/満足」の5段階の合計数	

No.02-a 患者満足度（入院患者） 満足

No.02-b 患者満足度（入院患者） 満足またはやや満足

【計算方法】

分子	a	分母のうち「満足」と回答した入院患者数
	b	分母のうち「満足」または「やや満足」と回答した入院患者数
分母	入院患者への満足度調査項目「この病院について総合的には どう思われますか？」の設問有効回答数 ・「不満/やや不満/どちらともいえない/やや満足/満足」の5段階の合計数	

No.03-a 入院患者の転倒・転落発生率

No.03-b 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル2以上）

No.03-c 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル4以上）

No.03-d 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

【計算方法】

分子	a	入院中の患者に発生した転倒・転落件数
	b	入院中の患者に発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数
	c	入院中の患者に発生した損傷レベル4以上の転倒・転落件数
	d	65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数
分母	a	入院患者延べ数（人日）
	b	
	c	
	d	65歳以上の入院患者延べ数（人日）

【転倒による損傷のレベル】

損傷レベル	説明	
1	なし	患者に損傷はなかった
2	軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を

		招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった
5	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	UTD	記録からは判定不可能

No.04 褥瘡発生率

【計算方法】

分子	d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数
分母	同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）

【日本褥瘡学会改定 DESIGN-R® 2020 Depth(深さ)】

Depth（深さ）	内容
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DTI	深部損傷褥瘡（DTI）疑い
U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能

No.05-a 新規圧迫創傷（褥瘡）発生率

No.05-b 新規医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）発生率

No.05-c 持ち込み圧迫創傷（褥瘡）率

【計算方法】

分子	a	調査期間中に d2（真皮までの損傷）以上の院内新規圧迫創傷発生患者数
	b	調査月の新規医療関連機器圧迫創傷（Medical Device Related Pressure Injury : MDRPI）発生患者数
	c	入院後 24 時間以内に圧迫創傷発生の記録がある患者数
分母	a	調査期間初日(0 時時点)の入院患者数 + 調査期間に新たに入院した患者数
	b	
	c	調査期間に新たに入院した患者数

【日本褥瘡学会改定 DESIGN-R® 2020 Depth(深さ)】

Depth (深さ)	内容
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DTI	深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い
U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能

No.06 紹介割合

【計算方法】

分子	紹介患者数 + 救急搬送患者数
分母	初診患者数

No.07 逆紹介割合

【計算方法】

分子	逆紹介患者数
分母	初診 + 再診患者数

No.08 症候性尿路感染症発生率

【計算方法】

分子	分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数
分母	入院患者における延べ尿道留置カテーテル使用日数

No.09 救急車・ホットラインの応需率

【計算方法】

分子	救急車で来院した患者数
分母	救急車受け入れ要請人数
除外	他院からの搬送 (転送) 人数

No.10 特定術式における手術開始 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

【計算方法】

分子	手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数
----	---------------------------------

分母	<p>下記の特定術式の手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠動脈バイパス手術 ・そのほかの心臓手術 ・股関節人工骨頭置換術 ・膝関節置換術 ・血管手術 ・大腸手術 ・子宮全摘除術
除外	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時年齢が 18 歳未満の患者 ・在院日数が 120 日以上の患者 ・帝王切開手術施行患者 ・臨床試験・治験を実施している患者 ・術前に感染が明記されている患者 ・全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が、主たる術式の前後 3 日（主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は 4 日）に行われた（日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を基点とする）。 ・外来手術施行患者

No.11 特定術式における術後 24 時間(心臓手術は 48 時間)以内の予防的抗菌薬投与停止率
【計算方法】

分子	<p>術後 24 時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数 (冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合 48 時間以内)</p>
分母	<p>下記の特定術式の手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠動脈バイパス手術 ・そのほかの心臓手術 ・大腸手術 ・子宮全摘除術
除外	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時年齢が 18 歳未満の患者 ・在院日数が 120 日以上の患者 ・帝王切開手術施行患者 ・臨床試験・治験を実施している患者 ・術前に感染が明記されている患者 ・全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が、主たる術式の前後 3 日（主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は 4 日）に行われた（日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を基点とする）。 ・術後の抗菌薬長期投与の理由が記載されている

	・手術室内または回復室内での死亡患者
--	--------------------

No.12 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

【計算方法】

分子	術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数
分母	<p>下記の特定術式の手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠動脈バイパス手術 ・そのほかの心臓手術 ・股関節人工骨頭置換術 ・膝関節置換術 ・血管手術 ・大腸手術 ・子宮全摘除術
除外	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時年齢が 18 歳未満の患者 ・在院日数が 120 日以上の患者 ・帝王切開手術施行患者 ・臨床試験・治験を実施している患者 ・術前に感染が明記されている患者 ・全身/脊髄/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が、主たる術式の前後 3 日（主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は 4 日）に行われた（日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を基点とする）。 ・手術室内または回復室内での死亡患者

No.13-a 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<7.0%

No.13-b 65 歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<8.0%

【計算方法】

分子	a	HbA1c(NGSP)の最終値が 7.0%未満の外来患者数
	b	HbA1c(NGSP)の最終値が 8.0%未満の 65 歳以上の外来患者数
分母	a	<p>糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数</p> <p>（過去 1 年間に糖尿病治療薬が外来で合計 90 日以上処方されている患者）</p>
	b	<p>糖尿病の薬物治療を施行されている 65 歳以上の外来患者数</p> <p>（過去 1 年間に糖尿病治療薬が外来で合計 90 日以上処方されている 65 歳以上の患者）</p>
除外		運動療法または食事療法のための患者

No.14 退院後 4 週間以内の予定外再入院割合

【計算方法】

分子	分母のうち、前回退院から 4 週間以内に計画外で再入院した症例
分母	退院症例数

No.15 退院後 7 日以内の予定外再入院割合

【計算方法】

分子	分母のうち、前回退院から 7 日以内に計画外で再入院した症例
分母	退院症例数

No.16 脳梗塞(TIA 含む)患者の入院 2 日目までの抗血小板・抗凝固療法処方割合

【計算方法】

分子	分母のうち、入院 2 日目までに抗血小板療法もしくは一部の抗凝固療法（オザグレ ルナトリウム）を受けた症例
分母	18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例

No.17 脳梗塞(TIA 含む)の診断で入院した患者への抗血小板薬処方割合

【計算方法】

分子	分母のうち、抗血小板薬を処方された症例
分母	18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例

No.18 脳梗塞患者へのスタチン処方割合

【計算方法】

分子	分母のうち、スタチンが投与された症例数
分母	脳梗塞で入院した症例数

No.19 心房細動を合併する脳梗塞(TIA 含む)患者への抗凝固薬処方割合

【計算方法】

分子	分母のうち、抗凝固薬を処方された症例
分母	18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例

No.20 脳梗塞の診断で入院した患者への入院後早期リハビリ治療実施割合

【計算方法】

分子	分母のうち、入院後早期（3 日以内）にリハビリテーション治療を受けた症例
分母	18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

No.21 統合指標(Composite Measures) 【手術】

【計算方法】

分子	指標 No.10,11,12 の分子の合計
分母	指標 No.10,11,12 の分母の合計

No.22 統合指標(Composite Measures) 【脳梗塞】

【計算方法】

分子	指標 No.16,17,18,19,20 の分子の合計
分母	指標 No.16,17,18,19,20 の分母の合計

No.23-a 1 か月間・100 床当たりのインシデント・アクシデント報告件数

No.23-b 全報告中医師による報告の占める割合

【計算方法】

分子	a	調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告件数× 100
	b	分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数
分母	a	許可病床数
	b	調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告総件数

No.24 職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

【計算方法】

分子	インフルエンザワクチンを予防接種した職員数
分母	職員数

No.25 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

【計算方法】

分子	分母のうち、特別食加算の算定
分母	18 歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例 の食事

No.26-a カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用時の血液培養実施率

No.26-b カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用までの培養検査実施率

【計算方法】

分子	a	分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した人数
----	---	---------------------------

	b	分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した人数
分母	a	カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院症例数
	b	カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、抗 MRSA 薬（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院症例数

No.26-c 血液培養検査における同日 2 セット以上の実施割合

No.26-d 血液培養検査における同日 2 セット以上の実施割合（生後 28 日未満）

No.26-e 血液培養検査における同日 2 セット以上の実施割合（生後 28 日～2 歳未満）

No.26-f 血液培養検査における同日 2 セット以上の実施割合（2 歳～6 歳未満）

No.26-g 血液培養検査における同日 2 セット以上の実施割合（6 歳以上）

【計算方法】

分子	血液培養のオーダーが 1 日に 2 件以上ある日数（人日）	
分母	c	血液培養のオーダー日数（人日）
	d	血液培養のオーダー日数（人日）（実施日が生後 28 日未満）
	e	血液培養のオーダー日数（人日）（実施日が生後 28 日以上 2 歳未満）
	f	血液培養のオーダー日数（人日）（実施日が 2 歳以上 6 歳未満）
	g	血液培養のオーダー日数（人日）（実施日が 6 歳以上）

No.27-a 脳卒中患者に対する地域連携の実施割合

No.27-b 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携の実施割合

【計算方法】

分子	分母のうち、地域連携に関する算定のある症例	
分母	a	脳卒中で入院した症例
	b	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

No.28 18 歳以上の身体抑制率

【計算方法】

分子	分母のうち（物理的）身体抑制を実施した患者延べ数（device days）
分母	18 歳以上の入院患者延べ数（patient days）

【物理的身体抑制】

1	徘徊しないように、車椅子や椅子、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
2	転落しないように、ベッドに体幹四肢をひも等で縛る。
3	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。
4	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。

5	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。
6	車椅子からずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車椅子テーブルをつける。
7	立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。
8	脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。
9	他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。

No.29-a 大腿骨頸部骨折の早期手術割合

No.29-b 大腿骨転子部骨折の早期手術割合

【計算方法】

分子	分母のうち、入院2日以内に手術を受けた症例数	
分母	a	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例
	b	大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

No.30 シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤投与率

【計算方法】

分子	分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数
分母	18歳以上の症例で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた、実施日数

No.31 抗 MRSA 薬投与に対する薬物血中濃度測定割合

【計算方法】

分子	分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例
分母	TDM を行うべき抗 MRSA 薬を投与された症例数

No.32 薬剤管理指導実施割合

【計算方法】

分子	分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数
分母	入院症例数

No.33 集中治療を要する重症患者に対する早期栄養介入割合

【計算方法】

分子	分母のうち、集中治療室入室後3日以内に栄養介入を受けた症例
----	-------------------------------

分母	集中治療室に3日間以上連続して入室していた18歳以上の症例
----	-------------------------------

No.34 アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率

【計算方法】

分子	分母のうち退院時に酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された症例
分母	退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の患者